

令和2（2020）年度 島根大学教員免許状更新講習シラバス【選択領域】

講習名	【選択】地域から日本の歴史を考える—古代史と考古学—				
授業形態	動画視聴・個人学習	時間数	6時間	定員	30名
受講期間	資料等送付予定日 令和2年8月19日(水) 修了認定試験等返送締切日 令和2年9月18日(金)	履修認定 対象職種	教諭		
		主な 受講対象者	校種【中学校・高等学校】 教科【社会科、地歴・公民科】 ※校種・教科外の方でも受講可能 ですが、専門的な内容も含まれます。		
担当講師	大日方 克己（島根大学学術研究院人文社会科学系 教授） 大橋 泰夫（島根大学学術研究院人文社会科学系 教授）				
到達目標	(1) 古代・中世を中心に山陰地域と世界のつながりを理解する。 (2) 出雲を中心とした遺跡の発掘調査成果を通して、考古学の基本的な研究方法と考古資料の特質を理解する。				
講習の内容	本講習では山陰地域に関する文献史学と考古学の近年の研究成果に基づいて、古代を中心に山陰地域の歴史的展開から日本の歴史を考え、地域の歴史・考古の素材を歴史教育に活かす一助としたい。まず文献史学からは、8～10世紀初頭に山陰地域に來航した渤海使・渤海人を素材に、日本古代における地域と東アジア（ユーラシア）世界との関係を検討し、地域から世界へという「グローバル」な歴史像を考えてみます。次に、考古学からは、杵築大社の本殿跡や出雲国府跡などの発掘調査の成果を通して、古代山陰の地域社会の姿を検討する。そのなかで、歴史学研究における考古学のあり方を検討します。				
日程	80分間	(動画視聴・課題) 出雲・山陰に來た渤海人 (大日方 克己)			
※個人ワークの進み具合によって、講習時間が多少変更となる場合があります。	80分間	(動画視聴・課題) 東アジア世界のなかの平安日本と地域 (大日方 克己)			
	80分間	(動画視聴・課題) 考古学の方法とその特質 (大橋 泰夫)			
	80分間	(動画視聴・課題) 考古学からみた出雲国風土記 (大橋 泰夫)			
	40分間	修了認定試験 事後評価アンケート記入			
試験方法	筆記試験(郵送、自筆)		試験時のノート・配布資料の参照	可	
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標にあげた内容を理解し説明できる。 ・修了認定試験の総得点の6割以上を認定とする。 ・課題の提出により、講習への積極的な参加が認められる。 				
講習に関して各自準備するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD(DVD-Video形式)の再生ができる機器。パソコンでの再生を行う際には、ソフトウェアが必要となる場合があります。 				
事前課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
留意事項	<p>8月19日頃に資料、授業動画の入ったDVD、修了認定試験(問題・解答用紙)、免許状更新講習受講者評価書を更新講習システムに登録されている住所宛てに送付します。(8月24日までに届かない場合は問い合わせください)動画を視聴し、指示に従って個人で課題を行ってください。課題は返送してください。</p> <p>動画を視聴したうえで、修了認定試験および免許状更新講習受講者評価書に必ず自筆で回答をし、島根大学教師教育研究センターまで返送ください。資料および授業の動画の複製は認められません。DVDは講習終了後返送してください。</p> <p>講習内容に関して質問があれば、下記アドレスで受け付けます</p> <p>大日方克己 obinata@soc.shimane-u.ac.jp 大橋泰夫 ohashi@soc.shimane-u.ac.jp</p>				